

【担当課：政策企画室政策調査担当】

議 題	大阪府市医療戦略会議提言の具体的な取組みについて
日 時	平成 26 年 12 月 9 日(火) 15 時 55 分～16 時 55 分
場 所	大阪市役所 会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 上山特別顧問 (職員等)： 大阪市政策企画室（政策調査担当部長、政策調査担当課長、担当係長） 大阪府戦略事業室（副理事、課長補佐、主査） 大阪府市大都市局（課長代理）
論 点	・大阪府市医療戦略会議提言の戦略 2「レセプトデータの戦略的活用」に関連する事業及び戦略 6「スマートエイジング・シティ」の実行に向けた取組みに対する助言について
主 な 意 見	○戦略2「レセプトデータの戦略的活用」に関連する事業について ・前回(10 月 21 日)の助言をふまえた取組み方針が検討されている。 ・レセプト分析について適正か否かにとどまらず、医療的に効果的・効率的であるかという視点で解析することも必要ではないか。他都市の取組みと比較する際には、分析手法や内容について比較することも必要ではないか。 ・大阪市全域で取組みを推進するには規模が大きいので、特定の区をモデルに取り組んでみてはどうか。例えば、スマートエイジング・シティの研究を行う地域を対象に検討してみてもどうか。 ・後発医薬品の使用促進は、医薬分業が進んでいるところで進んでいるとのことであるが、府で医薬分業が進んでいない理由を分析することも必要ではないか。 ○戦略6「スマートエイジング・シティ」の実行に向けた取組みについて ・前回(10 月 15 日)の助言をふまえた取組み方向となっており、引き続き取組みを進めていけばよい。 参考—大阪府市医療戦略会議提言 http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/19411/00000000/teigen.pdf
結 論	・顧問からの助言を参考に、引き続き必要な検討、作業を進める。
資 料	
関 係 所 属	